

大阪府市場だより



第381号 令和5年11月30日
 発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1水産棟3階）
 連絡先 TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp
 URL https://fu-ichiba.jp



絵：「リンゴ」

常駐代表者会議

標記会議（三木博司議長）が11月16日の早朝、管理棟4階の大会議室で開催されました。議事概要は次のとおりです。

府からの報告

○5年度の取扱高等
 前年度比較で、市場全体の取扱高は金額ベースで約115億円、2.2%の増加、直接集荷は金額ベースで約5.2億円、6.8%の増加。

○再整備検討会議について
 11月24日に開催予定の会議の延期が報告された。なお、管理棟から再整備に係る新聞報道の情報提供があり、場内の情報共有について一層の強化に努めていくことが確認された。

管理棟からの報告

○活性化事業
 ▽ハード事業

・5年度予定

▽水産せり場6～7番柱間床面改修工事（10/4完成）

▽EV急速充電器設置工事（11月16日利用開始、料金は30円/分。）

▽ソフト事業

・市場社会見学

高槻市立小学校など多数の小学校の社会見学を予定。
 ・大学との連携
 ▽梅花女子大学
 ✓食文化学部食文化学科
 恵方巻試食会（11/21）
 ※協力：榊大水直売
 ※心理こども学部こども教育学科 サツマイモ収穫（11/6）



当日は、雨のためサツマイモの収穫は後日となり、徳島県関西本部から講師をむかえて講義。
 ※協力：JA 大津松茂、徳島県関西本部、北栗
 ○維持補修事業
 11月15日現在、129件、3493万円の事業を実施。
 立体駐車場階段滑り止めステップ取付工事（完成）
 青果関連店舗西側埋設汚水管破損緊急修繕工事（11/8完成）



府依頼事業

水産棟屋上防水改修、水産仲卸A棟動力盤改修の2件の工事を予定。

〇こみ関連

・不法投棄

10月は5件で、対策開始前に比べて97%の減。

※投棄物：テント、衣装ケース、電気製品など。

※投棄場所：外周道路植込み、ゴミ集積場周辺など。

発見次第、防犯カメラで確認、投棄者が確認できれば自主回収を働きかけ。

持込投棄・不法投棄には入場禁止等の行政処分、警察への通報を実施。

追手門学院大学との連携

10月28・29日、学園祭でひだ野菜を使用したやきそば「野菜たっぷり塩やきそば」を400食販売。
※村上ゼミ×飛騨蔬菜出荷組合×JAひだのコラボ商品



場内物流改善に向けた意見交換会

11月16日、農林水産省は、2024年問題についての説明や場内事業者と場内物流の改善について意見交換するため、うおいち、大水面支社長、水産物卸協同組合役員などの出席のもと、オンライン会議を実施しました。

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品流通課卸売市場室の山田課長補佐から「物流革新に向けた施策パッケージ」と「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」について解説されました。
2024年4月にトラックドライバの働き方改革に関する

る法律が適用されることに伴う物流の担い手不足が見込まれる中、商慣習の見直しや物流の効率化などの必要性について説明がありました。

意見交換では、当市場の水産物の場内物流の現状について開設者や卸売業者、水産物卸協同組合から、「現状では水産物の場内物流については特に問題はなく、パレットの不足なども見られない」、「産地側から2024年問題について特段の働きかけはない」といった説明がされました。

また、入荷状況やALPS処理水の影響、インバウンドの効果などについても意見交換が行われました。

出店場所：管理棟前駐車場 12月 キッチンカースケジュール

諸事情により、日程変更、中止させて頂く場合がございます。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 A	8	9
10	11	12 B	13	14	15	16
17	18	19 C	20	21	22	23
24/31	25	26	27 D	28	29	30

<p>A 10:00~16:00 Rabbit's Crepe クレープ 丼</p> 	<p>B 11:00~16:00 kitchencar チツチ ホットサンド</p> 
<p>C 9:00~14:00 kitchenきやんここ ホットドッグ ナチヨス</p> 	<p>D 11:00~14:00 KENTOKU KITCHEN ハンバーガー</p> 

大阪府中央卸売市場管理センター内



計量器の検査

11月27日に4卸、北冷、三十三会の計量器について、計量士による検査が実施されました。51台が検査され、1台が不合格となりました。



来月のお知らせ

○安全部会
12月15日に安全部会で
年末年始対策を確認します。
○人権週間
12月4日～10日は人権週間、10日は人権デーです。



卸売業者取扱高

《10月・単月》

	種類	数量 (kg)	前年比%	金額 (千円)	前年比%
青果計	野菜	11,210,137	82.6	3,186,512	88.8
	果実	5,052,346	91.2	1,967,879	111.4
	小計	16,262,483	85.1	5,154,391	96.3
水産物計	生鮮水産物	1,392,794	97.8	1,510,414	99.4
	冷凍水産物	176,910	99.2	248,575	96.3
	加工水産物	682,152	93.6	973,034	104.4
	冷凍食品	345,561	96.0	203,819	103.1
小計	2,597,417	96.5	2,935,842	101.0	
総計		18,859,900	86.5	8,090,233	97.9

《4月～10月・累月》

	種類	数量 (kg)	前年比%	金額 (千円)	前年比%
青果計	野菜	77,588,687	98.4	20,107,809	101.5
	果実	28,281,745	92.3	12,727,774	99.6
	小計	105,870,432	96.7	32,835,582	100.7
水産物計	生鮮水産物	8,815,654	97.1	9,708,916	104.6
	冷凍水産物	1,203,099	95.8	1,686,075	96.3
	加工水産物	4,817,870	89.4	6,925,721	109.1
	冷凍食品	2,316,205	90.4	1,322,846	98.2
小計	17,152,828	93.8	19,643,558	104.9	
総計		123,023,260	96.3	52,479,141	102.2

《管理センター取りまとめ》

○安全部会からの報告

12月中旬に警察署長を訪問し、1月19日(金)の安全運転講習会への講師派遣を依頼。

12月15日に年末年始対策に係る安全部会を開催。

■その他

○衛検からの報告

11月9日、府立男女共同参画・青少年センターにおいて、「かね徳水産株式会社」(魚介類販売業)と「株式会社モリタ」(野菜果物販売業)の2施設が食品衛生関係優良施設知事表彰を受賞されました。

「かね徳水産株式会社」(魚介類販売業)と「株式会社モリタ」(野菜果物販売業)の2施設が食品衛生関係優良施設知事表彰を受賞されました。



秋の大掃除の実施

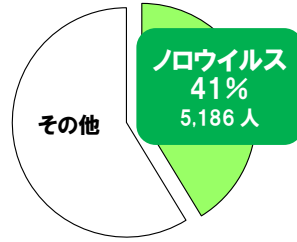
11月10日に大掃除を実施し、多くの方に気持ちよく開放デーにおいでいただきました。



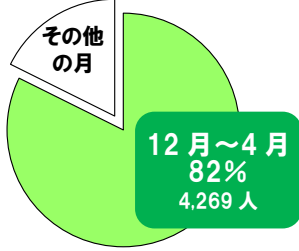
市場だより

【ノロウイルスとは?】

ノロウイルスは人に感染すると下痢や嘔吐、発熱などの症状を引き起こすウイルスです。年間の食中毒患者数の約4割はノロウイルスによるもので、うち約8割は12月～4月に発生しています。



原因別の食中毒患者数(年間)



ノロウイルス食中毒の発生時期別の患者数(年間)

出典：食中毒統計(平成30年から令和4年の平均)

このウイルスは、感染力が強く、少量のウイルスで発症します。また、ワクチンがなく、治療は輸液などの対症療法に限られるので、徹底した感染予防対策が必要です。

特に冬から春は要注意!

ノロウイルス感染症・食中毒

【主な感染経路】

ノロウイルスの主な感染経路は経口感染で、「人から人へ感染」する場合と「食品から感染(食中毒)」する場合があります。

①人からの感染

感染者の糞便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれます。これらの汚物を触ってウイルスが付着した手で触れたものや嘔吐物から舞い上がったウイルスが直接口に入ることによって感染します。

②食品からの感染(食中毒)

感染した調理者の手指を介して汚染された食品やウイルスを蓄積した二枚貝を加熱不十分な状態で食べることによって感染します。

ノロウイルスの食中毒の原因の多くは調理者を介した食品の汚染によるものです。

【感染予防方法】

ノロウイルスの感染の予防には次の4点を心がけましょう。

①手洗い

日ごろから、調理前、食事前、トイレの後などに、

石けん(液体石けんが推奨されます。)を使って、流水で手をしっかりと洗いましょう。また、手洗い後のタオルは共用せず、個人用タオルかペーパータオルを使用しましょう。

②食品取扱者の健康管理

食品取扱者は、普段から感染しないように食べ物や家族の健康状態に注意し、万が一、症状があるときは、食品を直接取扱うことのないようにしましょう。

食品取扱者は HACCP に沿った衛生管理を行い、体調不良者の確認を忘れないようにしましょう。



③食品や器具類の取扱い

牡蠣などの二枚貝は、中心部まで十分に加熱しましょう。湯通し程度では、ウイルスは死滅しません。

二枚貝の調理に使用したまな板や包丁は、すぐに熱湯消毒しましょう。

野菜、果物などの生鮮食品は、水道水で十分に洗いましょう。

④嘔吐物、便等の処理

処理する際には、マスクやビニール手袋を使用するなど二次汚染に注意しましょう。

消毒剤としては、次亜塩素酸ナトリウムなどの塩素系漂白剤を使用しましょう。アルコールではノロウイルスを消毒することができないため注意が必要です。

汚物等を処理する際には次の「3原則」を守りましょう。

①すぐに拭き取る・乾燥させない。

②きれいに拭き取ってから消毒する。

③しっかり手洗いをする。

詳しい処理方法は大阪府 HP 「感染性胃腸炎にご注意!」をご確認ください。

ノロウイルスが流行する季節に突入します。徹底した感染予防対策でノロウイルスを撃退しましょう。





●青果くずの排出

※管理ターは1/2負担

▼10月単月実績

対前年比で排出量は24%減、処理費用は20%減。

▼10月までの累計

対前年比で排出量は16%減、処理費用は11%減。

大量投棄の際は、受け入れ態勢の確保及び食品ロス削減のため、事前に管理ターまで連絡を！

●木製廃棄パレット排出

※管理ターは1/3負担

▼10月単月実績

対前年比で排出量は8%増、処理費用は32%増。

▼10月までの累計

対前年比で排出量は9%減、処理費用は13%増。

引き続き更なる削減を目指し、外部の持ち込み禁止、利用可能なパレットの再利用の徹底を！

●一般廃棄物排出

※管理ターは4/10負担

▼10月単月実績

対前年比で排出量は8%減、処理費用は38%増。

▼10月までの累計

対前年比で排出量は10%減、処理費用は36%増。

※茨木市の処理費用

4月より1.5倍にアップ。

今後の状況を見極めて管理

タの負担割合の見直しを検討。

※茨木市資源循環課

場内ゴミ集積場視察のため来場(10/27)

古紙リサイクル及びプラスチック類の分別強化の依頼がなされた。今後、管理ターが古紙分別の力を追加する予定。

廃棄物処理の費用抑制について議論がなされ、廃棄物処理費用の負担割合については今後協議とされた。

○禁煙対策

●通告書等交付件数

11月15日現在、通告書交付(違反者)は383件(うち場外は101件)。

警告書交付(再違反者)は31件↓さらに累犯で入場禁止。

●取扱要綱の改正(4/1より)

悪質な違反行為(常習違反、吸殻のポイ捨て、注意指導に従わないなど)に対する罰則の強化等。

○鳥獣対策

●カラス対策

11月15日現在、582羽を捕獲。捕獲籠の大と小での捕獲を実施。

●そ族(ネズミ)等対策

11月15日現在、98匹を捕獲。出没区域を重点に捕獲力などを設置。

○その他

●トラック車両による場内物損事故

11月15日現在、14件発生。うちスプリンクラー破損3件、高さ制限バー破損2件。ウイングを上げての場内走行などによる。

14件の全てで求償を行う。

市内授産施設によるカレーの出張販売(第2・4金曜)。

●キッチンカーの出店(11/20)。【6ページを参照】

■協会からの報告

○開放デーの結果報告

4年ぶりの開催でスタッフの不慣れもあり、会場設営中心に不備が多かったとお詫びがなされた。

●トラブル

迷子が1件、落とし物が3件。落とし物1件を除き、開催時間内に解決済み。

その他、特に問題はなし。

●入場者数

▼運営は簡素化

実施要領の運営方針で「ウイズコロナの下、できるだけ人の密集をさけること」としたことから、新聞の折込チラシをやめるとともに、イベントメニューも粗品進呈等を中止した。

▼入場者数の推計

このような方針の結果、正門の車両入場は、40周年の7割、元年の6割となり、概ね1万人と推計されると報告があった。

なお、協会ホームページアクセスは370人に達した。

●アンケート
75枚を回収。後日、整理して報告。「待ち望んでいた」「また開催してほしい」との意見が大半であった。

●決算
後日に報告。

なお、毎回、コスト増となっており、今後の開催には留意が必要。

●その他

献血の日赤、チラシ配布の警察から感謝との報告。

●各社・団体からの意見

●商品の売れ残り
入場者数の減少を見込んだ商品確保にならず、高値もあって売れ残りが発生し、各組合での対応が必要になった。

▼広報強化と賑やかさアップ

今後は、広報活動の強化や阿波踊りなど、より賑やかなイベントも検討すべき。

▼補助金の交付

賑やかさを増すために、赤字を覚悟で実施するよう

な事業については、協会からの補助金を検討すべき。

▼開催時間

半時間前倒しして1時間早く終わることは好評。

▼箱の即売

衛生確保のため仕方ないが、解体後、いちいち店に持ち帰り改めて会場ブースに持ち込む手間が大変。

▼献血

よい取組みであった。

▼その他

●ブースの配置のあり方、スピーカーの音量など運営の課題を検討すべき。

○年賀交歓会

1月5日(金)、7階講堂で8時より、簡素化して橋爪理事長臨席のもと常駐会議として開催。

○茨木神社恵美須講

1月6日(土)の朝、マグロ、野菜の奉納。

11日の9時半から宝恵籠が場内巡行の予定。

○カレンダー配布

11月25日(土)、12月2日(土)の2回で配布予定。

○電話帳更新

5年ごとの更新を実施するため12月に連絡会議を開催。1月1日現在で内容を確認し、2月中に配布する予定。

開場45周年記念
市場開放デー特集

■主催者の挨拶
橋爪市場協会理事長



皆さん、おはようございます。朝早くから大勢の皆様にご来場をいただき誠にありがとうございます。

大阪府の原田部長様、茨木市の福岡市長様、足立代議士様、大阪府議会議員の先生方をはじめ、多数の来賓の皆様にご来場賜り、また日頃より当市場にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。コロナ禍で4年ぶりの開催となります府中央卸売市場市場開放デーですが、今年が開場45周年記念も兼ねて、消費者の皆様への感謝のイベントとして、感染症対策に留意しつつ、開催させていただきます。

結びにあたり、本日御出店を頂きました各種団体の皆様方や実行委員をはじめ、市場の皆さんに対し、これまで準備にご苦労頂いたことに感謝申し上げます。ご挨拶に代えて頂きます。

■知事の挨拶（原田府環境
農林水産部長代読）



ご挨拶申し上げます。本年、開設45周年を迎えた当市場は、これまで長年にわたり、府民の皆様が新鮮で安全・安心な野菜や果物、水産物を安定的に供給してまいりました。これもひとえに、場内事業者の皆様をはじめ、全国の生産者や関係者の皆様のご支援の賜物であり、この場をお借りして御礼申し上げます。

今回の市場開放デーは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度以降開催が見送られていたため、4年ぶりの開催となります。本年の開催に向け、ご尽力いただきました主催者の市場協会をはじめ、場内事業者の皆様を重ねて御礼申し上げます。府としては、この45周年を契機とし、卸・仲卸をはじめとした場内事業者の

■実行委員会の開会宣言
杉江実行委員長



皆さんおはようございます。本日は早朝からたくさん来ていただきありがとうございます。

来場いただきありがとうございます。今日は生憎の曇り空となりましたが、なんとか雨にはならないようです。今年も新鮮で安全安心な野菜と果物、そして魚をたくさん取り揃えております。

皆様とこれまで以上に連携を強め、今後も府民の皆様が安全・安心な生鮮食料品を安定的に供給できるように努めてまいりますので、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。ご来場の皆様には、本日はぜひ、全国からこの市場に集まった新鮮な食材をご覧いただき、その美味しさを味わっていただきたいと思っております。

短い時間ですが、時間の許す限り、お買い物を楽しんでいただけたらありがたいと思っております。市場開放デー開催にあたり、各関係者の皆様、ご尽力していただき厚く御礼申し上げます。



永富実行副委員長
杉江実行委員長
榎本 理事長
西田 理事長
三木 社長
山橋 社長
中島 社長
中内 社長
橋爪 理事長
原田 部長
福岡 市長
足立 代議士
中野 府議
うらハ 府議
大野 府議
みよし 府議
由井 府議
広野 府議
川岡 府議
石川 府議
下野 市議会議長
松本 元府議
長谷川 市議



中村 場長
金丸 室長
宮前 専務
興 社長
花木 支社長
酒井 支社長
川辺 支社長
小野 会長
小西 支部長
井上 常務理事



永富実行副委員長
杉江実行委員長
榎本 理事長
西田 理事長
三木 社長
山橋 社長
中島 社長
中内 社長
橋爪 理事長
原田 部長
福岡 市長
足立 代議士
中野 府議
うらハ 府議
大野 府議
みよし 府議
由井 府議
広野 府議
川岡 府議
石川 府議
下野 市議会議長
松本 元府議
長谷川 市議





入場ロゼーション



水産卸売場ゾーン



水産小通りのゾーン



水産大通り・青果ゾーン